たのしむユニバーシティ通信

TANOSHIMU-UNIVERCITY COMMUNICATION

2017
第 005 号
発行所
川上塗装工業株式会社
盛岡市三ツ割 3-2-11
電話　019-601-4014

Main Theme

お客様の前で字を書くのが恥ずかしいなら入学！

“きれいな字を書くポイント”講座

きれいな字に共通するポイントはどこか？

人前で文字を書く機会はあるけれど自信がないと思う方も多いのではないでしょうか？お客様宛の書類を書くのが苦手だという社員のために田鎖先生に講義を依頼しました。

初めに、自分の名前をペンと筆ペンで書いてみました。講義では、日常、書くことの多い「岩手県、盛岡市、町、丁目」「御中、様」等の漢字や「ありがとうございました」のひらがな、数字の書き方を練習しました。止め、跳ね、はらいの時は、一度しっかり止まってから書くとうまく書けるそうです。ポイントは起筆、終筆、中心を意識して少しゆっくり書くこと。それぞれの字の中で、つける箇所はつけ、離す箇所はしっかり離し、文字のパーツごとのバランスを考える。文字の集まりでは、画数の少ない文字は大きく見えてしまうため、漢字を10とするとひらがなや数字は8ぐらいの大きさのバランスで書くと整って見えるそうです。

毛筆では、腕の動きより筆先は遅れて到着するので、硬筆よりゆっくり書き、次の書き出しはどこから始まるのかを目で追って確認し、筆を運ぶようにすると良いそうです。また、肘から先を動かすのではなく、肘から肩を動かすようにして書くことがポイントとのこと。

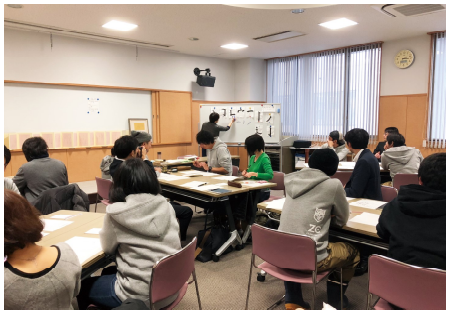
最後に先生直筆の参加者の名前の見本をいただき、見本を見ながらもう一度自分の名前を書き、講義前より上達したかを比較してみました。その後、来年の抱負を色紙に書き、あっという間に講義は終了。

毎日一分でも意識すれば、一年後はもっときれいな字になるはずと激励をいただきました。あっという間の楽しい講義でした。田鎖先生ありがとうございました。

講師紹介

田鎖　美晴 Miharu Takusari

子供から大人まで幅広い年代に書道を教える«美晴書道教室»代表。花巻市石鳥谷町出身。大東文化大学で書道を専攻し、仮名ゼミ出身。卒業後、書道家の村里桃苑氏に師事。一東書道会に所属。郵便局で勤務し、出産を機に退職。育児サークルでの出会いをきっかけに書道教室を開業。
二人の息子を育てながら、仮名を専門に日々修行中！

第５回
2017.12.15

一画一画をゆっくりと大切に書こう